

国道8号豊田・新屋地区の状況



新屋交差点付近

急に渋滞して
いてヒヤッとした
ことがあるよ



通過する時間が
いつも読めない
んだよね



JR跨線橋付近

国道8号は毎日の通勤や物流に利用されているとともに、救急車や消防車、災害時における緊急車両が通行する重要な路線であり、北陸の大動脈となっています。

多くの豊田・新屋地区の渋滞緩和や交通事故削減等を目的に、平成21年度に事業化され、現在まで地元説明会や測量・調査を実施しています。

地域の皆様からのご意見にお答えしながら事業を進めて行きたいと考えています。

この度、事業の進み具合をお知らせし、皆様の質問に分かりやすくお答えするため、『豊田新屋ニュースレター』を配布させていただきました。地域の方々の疑問解消に

少しでもお役に立つことができれば幸いです。

今後、年4回程度の発行を予定しておりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

富山河川国道事務所長
氏家 清彦

創刊にあたってのごあいさつ

国道8号豊田新屋立体



創刊号

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省
富山河川国道事務所
調査第二課・用地第二課
〒930-8537
富山市奥田新町2番1号
TEL 076-443-4701(代表)
FAX 076-443-4703

富山市役所
建設部 建設政策課
〒930-8510
富山市新桜町7-38
TEL 076-443-2220(直通)
FAX 076-443-2187



中島大橋付近

神通川まで車が
ならんでる～



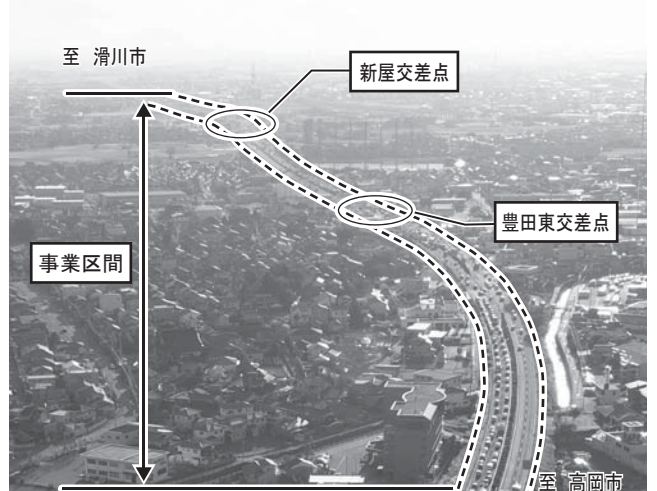
雪が降るともっと
混雑してるよ



富山市水橋金尾新付近まで渋滞の様子

豊田新屋立体事業の事業概要

豊田新屋立体事業は、渋滞の緩和、交通事故の削減、自動車の排出ガスや騒音の低下、救急車等の緊急車両の円滑な走行などを目的に、富山市小西～栗島町間(2.9km)を整備するものです。

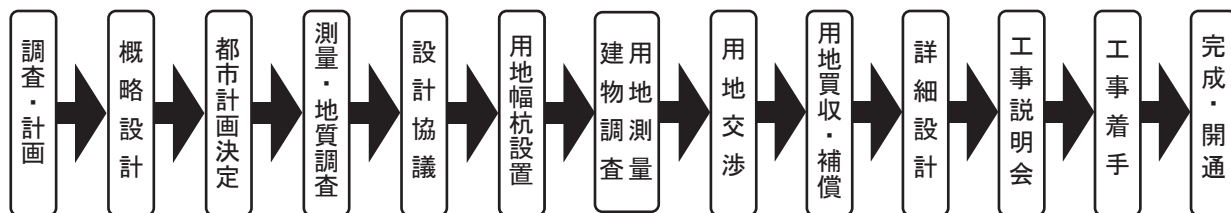


裏面もご覧ください

Q & A コーナー

①全体の流れは？

事業の調査・計画から完成・開通までの流れは以下のとおりです。

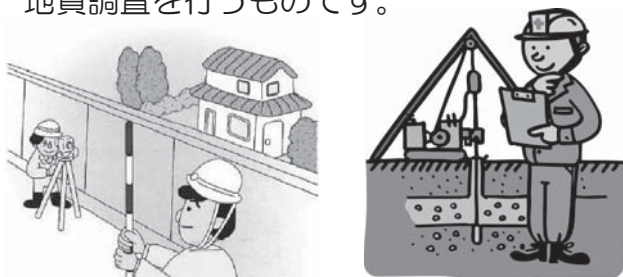


②これまでに何をしてきたの？

本事業は、平成20年度に都市計画決定し、平成21年度に事業化された後、測量・地質調査、道路の設計、地元説明会を行ってきました。

■測量・地質調査

設計に必要な測量（道路の中心線を設定する測量、縦横断形状を把握する測量）や地質調査を行うものです。

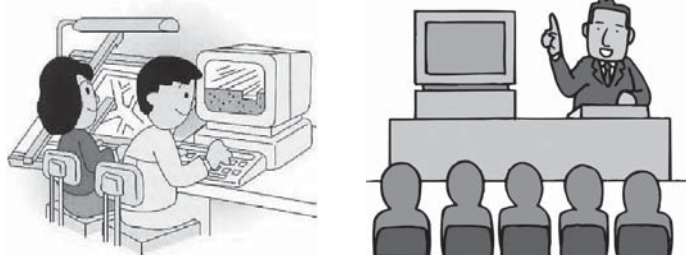


【測量】

【地質調査】

■設計協議

測量・調査結果より道路の設計を行い、設計図を基に関係者の方々のご理解、ご協力を得るため具体的な説明を行うものです。



【道路の設計】

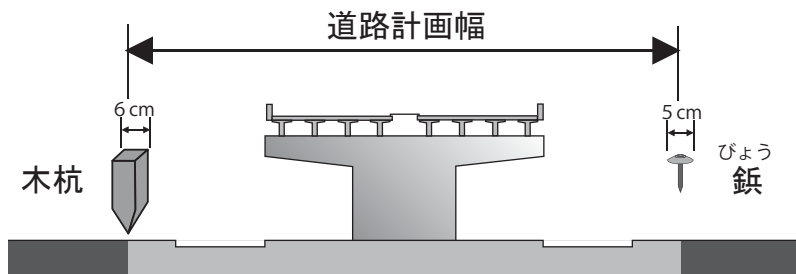
【地元説明会】

③これから何をするの？

引き続き、測量・地質調査、地元説明会を実施し、今後用地幅杭設置や、用地測量、建物調査を進めていきます。

■用地幅杭設置

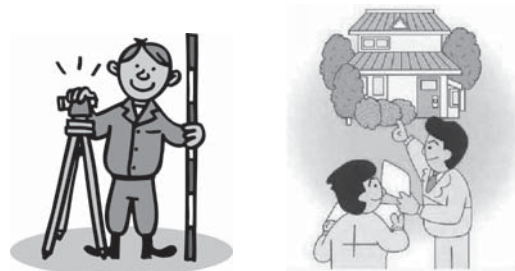
皆様のご了解を得て道路の拡幅に必要な土地の範囲の目印として木杭やびょうびょうを設置するものです。



【用地幅杭設置（イメージ）】

■用地測量・建物調査

みなさまからお譲りいただく土地の面積や建物、塀や看板などの工作物、庭木などの立木を詳しく調査します。



【用地測量】

【建物調査】

~~~~~【問い合わせ先】~~~~~

国道8号豊田新屋立体事業に関しては下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

- |                   |           |       |                      |
|-------------------|-----------|-------|----------------------|
| ● 事業の計画・設計について    | 富山河川国道事務所 | 調査第二課 | TEL 076-443-4717（直通） |
| ● 用地測量・建物調査について   | 富山河川国道事務所 | 用地第二課 | TEL 076-443-4707（直通） |
| ● 事業に伴う市道等の計画について | 富山市役所 建設部 | 建設政策課 | TEL 076-443-2220（直通） |

お知らせ 次号は、「事業の効果・役割」などを掲載する予定です。